

日本栄養・食糧学会中部支部

令和2年度 第2回 参与会議事録

日時 令和2年11月21日(土曜日) 11:00~11:45
場所 オンライン Zoom
出席者 参与29名、会計幹事

議 題

I 審議事項

1. 令和3年度事業計画案

庶務幹事より令和3年度事業計画案の説明があった。第78回支部大会は特別講演・シンポジウムの開催を予定しているが、学会賞等の受賞者がいる場合には受賞講演をしていただく予定であること、第79回支部大会は特別講演あるいはシンポジウムと一般講演を行う予定であることが説明された。第78回の支部大会の開催日程については、参与に年内の日程確認をしていただき、6月26日(土)または7月10日(土)とすることにした。現時点では令和3年度の支部大会は名古屋大学での開催を予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインのみあるいは、対面+オンラインの開催となる可能性があることも説明され、令和3年度事業計画案が承認された。

2. 令和3年度予算案

会計幹事より資料2の説明がなされた。令和3年度の支部大会は対面で行う予定で予算を計上していること、懇親会については来年度についても行わないことから、それに伴う収入と支出が計上されていないことなどが説明され、承認された。

3. 名誉会員・終身会員の推薦について

庶務幹事より名誉会員・終身会員の推薦に関する規程の説明があり、この終身会員の規定に該当する1名を中部支部から推薦することが承認された。また、長年継続的に正会員であり高齢とされる85歳以上に該当する正会員はいないことも報告された。

4. 令和3年度新参与候補者について

中部支部の活性化のため、参与に関する規程に該当する新参与候補者の推薦を参与に依頼した。本部への新参与候補者の推薦の締め切りが2月8日のため、候補者がいる場合は年内に支部役員にお知らせいただくこととした。

II 報告事項

1. 令和2・3年度参与リストの変更

参与1名の退会が7月に理事会承認され、参与から抜けられたこと、中部支部の参与は41名となったことが庶務幹事から報告された。

2. 令和2年度支部特別協賛団体について

昨年度から1社の辞退があり、令和2年度の支部特別協賛団体が10社となったことが庶務幹事から報告された。

3. 理事会報告

第1回参与会以降に開催された第3回（7月11日）と第4回（10月17日）の理事会について、以下のように理事から報告がなされた。

【第3回】

・第74回日本栄養・食糧学会（仙台）大会の中止の報告および、一般発表のWeb発表の企画の提案がなされ、アンケート調査の結果、7割が発表を希望していた。

・本大会の中止で行われなかった特別講演等を9月にWeb開催することが報告された。

・学会本部で支部大会のオンライン開催に必要なzoom等のサポートをしてほしいとの要望が支部からあった。（11月21日現在、必要に応じて本部からサポートが得られる状況であるが、Webinar契約はなし。）

・第22回国際栄養学会議（ICN）は2021年9月14-19日の日程で開催予定であり、Abstractの募集が始まっていることが報告された。

【第4回】

・第74回大会が9月20日にWeb開催され、500名を超える参加者で盛況であった。

・第75回（東京2021年）大会は6月5日（土）にお茶の水女子大にて社員総会、授賞式、受賞講演、特別講演が開催予定。

・第76回（神戸2022年）大会は6月10日に社員総会、授賞式などがポートピアホテルにて、6月11-12日に一般講演が武庫川女子大にて開催予定。

・第22回ICNの2nd circularがダウンロード可能となったこと、幹事会メンバーにて開催方法の最終決定の議論中であることが報告された。

・学会の75周年となる2022年に75周年記念事業を行うことが決定した。この記念事業を第76回（神戸）大会で行う可能性があるとして報告された。

以上